

社会福祉

アスペルガー症候群、支援へ

石井としお県議

アスペルガー症候群の方々に対する支援について、県の取り組みを問う。

健康福祉部長

県では、専門的な支援拠点として、千葉県発達障害者支援センター(CAS)を千葉市と我孫子市の2カ所に設置し、発達障害のある方やその家族等からの各種相談に応じるとともに、

要請に応じて、児童発達支援センターや学校、ハローワークや一般企業等を訪問し、障害特性を踏まえた支援方法や環境整備に関する助言等を行っている。

相談業務に従事する者がアスペルガー症候群等の発達障害の特性に応じた適切な支援が行えるよう、専門職等を対象とした研修を実施し、地域における相談体制の充実に努めている。

要望

アスペルガー症候群の早期発見や周囲の理解と能力を伸ばす療育等、支援環境の調整が非常に大切。

相談支援専門員等の人材育成を確保し、関連機関とも一層の充実に向け、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行ってほしい。

地域防災

消防団支援を

石井としお県議

国からの「消防団の加入促進に向けた積極的な取り組み」として消防団員の処遇と装備品の改善が示された。消防団の装備品の充実を図る上で、県の取り組みを問う。

森田知事

国の基準に基づき各市町村で整備しており、県では経費の6分の1を補助している。

平成29年度は、安全装備や無線機等37団体に合わせて3,700万円を交付。特に消防団員が増加した市町村に対して新入団員の装備品の整備に係る補助率を3分の1に引き上げ支援。

要望

道路交通法の改正により、普通免許の対象上限が3.5t未満となり、消防団の保有する消防車両の3割以上が普通免許では運転できなくなっている。

市町村に対し、準中型免許の取得に対する補助制度の積極的導入や、県の補助制度を活用して普通免許で運転できる3.5t未満の消防車両を積極的に導入するよう促すことで、消防団への支援を要望する。

農業

農業経営の収入安定対策

石井としお県議

(1)自然災害等で農業収入の安定は非常に厳しい問題。既存制度がある中、農業経営収入保険制度の補償内容を問う。

(2)制度が複雑で容易に判断できないとの声がある。農家自身の経営に合う制度を選択するためのサポートを問う。

農林水産部長

(1)収入保険制度は、品目限定や産地指定がなく、補てんについても、農業者の経営努力では避けられない様々な収入減少の要因を対象としており、農業経営を広くカバーするセーフティネットとして、農業者のチャレンジを後押しする制度である。

(2)農業共済関連団体でのタブレット端末による補償内容のシミュレーションや、地域の青色申告会の協力による相談会の実施等のサポートがあり、県ではサポートが活用されるようHP等機会を捉え案内している。



要望

法改正で、農業共済の内容も見直され、稲・麦対象の農作物共済は当然加入方式から任意加入方式に移行することで、未加入者の発生が懸念される。無保険状態にならないようにサポートを要望する。

プラスティックごみの適正処理は?

石井としお県議

(1)農業用廃プラスチックの適正処理に県の取り組みを問う。

(2)老朽化が進む千葉県園芸用プラスチックリサイクルセンターへ県の対応を問う。

森田知事

(1)市町村、JA、関係団体等で構成する農業用廃プラスチック対策協議会を組織し、リサイクルセンターで再生処理している。農業者の負担軽減のため県、市町村、全農千葉県本部で処理料金に対する助成を行っている。

(2)20年以上経過しており現在は機械の更新や大規模改修等が見込まれる。



要望

農業用廃プラスチックの処理が滞りなく行われるよう、また老朽化が進むセンターの修繕は喫緊の課題であるので、予算の確保に十分配慮するよう要望する。

普及指導員さんへの期待

石井としお県議

農業者を支援している普及指導員さんの地域農業の振興に向けた取り組みを問う。

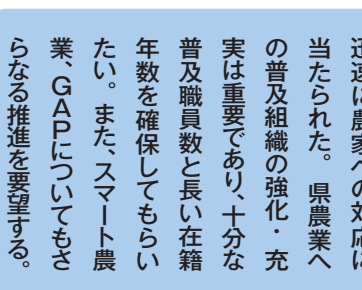
農林水産部長

担い手の確保・育成や技術指導、量販店等の大口需要に応える産地間連携、集落営農の法人化、雇用労働力の確保に当たったアドバイス等を行っている。

更に最近ではGAP(農業生産工程管理)の普及拡大やスマート農業の現地実証等も進めている。

農林水産部長

今回の激甚災害指定の台風24号の被害に対し、普及指導員さんは迅速に農家への対応に当たられた。県農業への普及組織の強化・充実は重要であり、十分な普及職員数と長い在籍年数を確保してもらいたい。また、スマート農業、GAPについてもさらなる推進を要望する。



要望

吉橋地先の歩道整備の他に、島田台地先や八千代西高人口交差点改良とあわせ、桑橋地先での歩道整備等を実施している大変重要な道路である。地元地域、この道路を利用する数多くの皆さんから、早期の完成を望む声が寄せられている。ぜひ、整備に必要な予算を確保し、早期に完成してもらいたい。

農林水産部長

女性農業者さんへの活躍 女性農業者へ県はどのような支援を行っているか問う。

石井としお県議

八千代市には「JA八千代市フレッシュコミュニケーション」という若手女性農業者グループがあり、イベントや研修を自ら企画運営している。活動を通し経営者としての資力が向上し、地域全体に活気が生まれている例である。女性農業者さんがさらに活躍できるよう一層の女性組織の育成と支援を要望する。

要望

子ども会の振興 子ども会が行う「房総子ども会がた大会」の県教育委員会の取り組みを問う。

石井としお県議

(1)子ども会が行う「房総子ども会がた大会」の県教育委員会の取り組みを問う。

(2)千葉県子ども会育成連合会への県教育委員会の支援を問う。

要望

石井としお県議

子ども会がた大会は、子ども会がた大会の開催を問う。

教育長

(1)房総子ども会がた大会は、郷土を愛する心を育てることを目的として県教育委員会と千葉県子ども会育成連合会が共同で制作。大会は本年の30回記念大会までで延べ2万人を超える子どもたちが参加。

(2)千葉県子ども会育成連合会は、県内の子ども会約1,500団体、約6万人で構成。子ども会活動を

要望

「房総子ども会がた大会」の会場で、遊びながらに郷土千葉県への愛着が育まれている子どもの姿を見、この大会が長く続くよう願った。

石井としお県議

子ども会は、年齢の異なる子どもが一緒に、学校や家庭ではできない経験をし、心豊かな社会の担い手を地域ぐるみで育てていく重要な社会教育活動である。子ども会の活動が活発になるような支援を要望する。

子ども会の振興

石井としお県議

子ども会がた大会は、子ども会がた大会の開催を問う。

教育長

(1)房総子ども会がた大会は、郷土を愛する心を育てることを目的として県教育委員会と千葉県子ども会育成連合会が共同で制作。大会は本年の30回記念大会までで延べ2万人を超える子どもたちが参加。

(2)千葉県子ども会育成連合会は、県内の子ども会約1,500団体、約6万人で構成。子ども会活動を

●石井としおプロフィール●

- 青少年相談員副会長/市PTA連絡協議会長
船橋吹奏楽団副理事長/応援団・合唱団のりうた団長
市子連YLC副指導部長/統計協議会副会長
姉妹都市青少年交流教室(広島)団長
“ふるさときやらばん”実行応援団長
NPO「がき大将の森の会」監事
八千代市議会議員(当選4期)
市消防市民音楽隊(パーカッション)

継続は力なり

熱意 誠意 実行